

医療法人社団広恵会 春山外科病院

〒169-0073 東京都新宿区百人町1-24-5 TEL 03-3363-1661 FAX 03-3371-1021
<http://www.haruyama-hosp.com> e-mail : info@haruyama-hosp.com

震災により被害された皆様、そのご家族の方々に心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興をお祈り申し上げます。

おしりのはなし

診療部 消化器科
河野 正寛

多くの人が悩まされるけれどもなかなか相談しづらい、そんな病気が痔核です。今回は痔核についてお話をさせていただきます。

はじめに

痔核とはもともと誰でも持っている肛門周囲の直腸静脈叢（静脈の集まったものとお考えください）が何らかの原因で腫れてくることで起こるものです。

直腸静脈叢は、体の中と外の境界線である歯状線より内側の上直腸静脈叢（内痔核になります。）と歯状線より外側の下直腸静脈叢（血栓性外痔核などの原因になります）に分かれています。本来誰でも持っているものです。ここで強調しておきたいのが、この「誰でも持っている」という点です。

つまり、痔核は肛門周囲をとる手術（直腸癌などでおこなう腹会陰式直腸切断術など）を受けた人を除き、程度の差はありますが、皆持っているものなのです。そのため、痔核の治療は症状があるかないか、辛いかどうか、が大事になるのです。症状のない痔核はわざわざ手術を受ける必要はありませんし、薬を使う必要もありません。逆に言えば小さいものでも症状があったり、気になるならその時点で治療を受けていただきたいのです。

痔の症状

痔核は大きく分けて二つあり、それぞれ多少異なります。

内痔核：

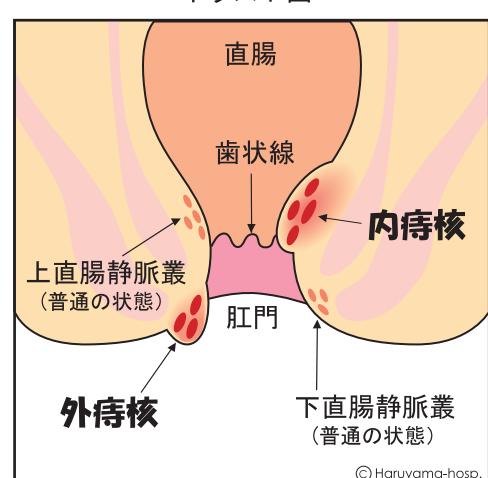
体の中の静脈叢が原因のため、通常痛みはありません（大きな痔が出たまま戻らなくなると陥頓という状態になり、この時は痛みます。緊急的な処置が必要な状態です）。

出血（便器が真っ赤になるほどもあります）や出っ張る感じが主な症状です。

外痔核：

肛門の外側にできた血豆のような状態です。肛門の外側なので非常に感覚が鋭いところであるため、痛みが強いです。大きさによりますが親指の頭くらいのものになると座ることも辛くなります。

イラスト図



© Haruyama-hosp.

裏面に続く ↴



平成23年1月～平成23年6月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計
外来患者延べ数	4,002	3,711	4,103	3,999	3,899	4,041	23,755
入院患者延べ数	1,702	1,482	1,668	1,552	1,596	1,491	9,491
搬送救急車台数	483	464	507	483	476	467	2,880
平均在院日数	16.2	14.7	13.1	12.6	15.1	12.0	13.9
手術件数	62	66	80	51	60	50	369

▽表面より

痔の治療

医者により方針が多少異なるため、今回は私の治療方針を説明いたします（ごく一般的な方針と思っていただいてよいと考えます）。

内痔核の治療：

静脈の腫れが原因であるため、これに対してまず塗り薬を使用します。手術的な治療をなるべく避けられるよう（誰でもしなくてよい手術はしたくないはずです）負担の少ない治療から始めるわけです。

直接患部に塗ることでむくみ、炎症を抑え、痔核を小さくします。概ね2週間使用してみて、効果が乏しければ手術を考えます。手術は昔から行われていて実績のある切り取る方法と割と最近広がってきた効果療法の一種であるジオン注療法の2種類です。

切り取る手術は、痔核を切除するため同じ場所の再発はありません。根治的な治療です。ただし、手術後の痛みや肛門が狭くなる可能性があります。

ジオン注療法は術後の痛みがほとんどありませんが、再発の可能性（大体2割くらい）や外痔核を伴うものには行えない、などの問題があります。それぞれの患者さんの肛門の状態や希望（痛いのはいやだ、とかしっかり直したい、など）に応じて選択しています。いずれにしても当院では3日間程度の入院で行っています。

外痔核の治療：

痛みの程度により変わります。痛みが強くない場合には保存的加療といって塗り薬を使いながら、自然と吸収されるのを待ちます。概ね3～4週間ぐらいで自然と吸収され、消えます。痛みが強い場合、日常生活ができないような時には原因である血の塊を摘出する手術になります。外来でおこなえる処置ですが、通院していただき、経過を見ていく必要があります。

今回は痔核について説明いたしましたが、このほかにも肛門の病気はいろいろです。裂肛、肛門狭窄、痔ろうが有名なところです。

また、見逃してはならないのが、大腸癌、直腸癌です。排便のときの出血は痔核だけの症状ではありません。直腸癌でもやはり出血します。私は外来に排便時出血でいらした方には一度大腸の内視鏡検査をお勧めしています。実際診療していると排便時出血をきっかけとして大腸癌が見つかる方もいらっしゃいます。

肛門のことで悩みのある方は、ぜひ一度、消化器科を受診することをお勧めいたします。患者さんの訴えや希望をきき、直腸指診、肛門鏡を使用した診察を行った上で、治療についてご相談させていただきます。

春山外科病院の理念と基本方針

病院理念

救急医療活動を中心とし、さらに地域に密着した急性期病院として、常に患者の皆様に安心で信頼される医療を提供できるよう努力してまいります。

基本方針

1. 急性期疾患と救急医療にあたる地域の中核病院として常に医療技術の向上を図り、最善の医療を提供できるよう努力いたします。
2. 患者様の権利を尊重し、患者様との信頼関係のもとで安全で納得のできる医療を確保するため、患者様自らにさまざまな医療の現場で、診療に積極的に参加していただき、患者様とのより良きパートナーシップを構築するよう心がけてまいります。
3. 医療設備の充実や療養環境などの改善により、病院機能の充実・強化を行い、適切な医療サービスを提供できるように努めます。
4. 地域の医療・福祉機関等との連携を強化し、地域のニーズに適応した医療を提供致します。
5. スタッフと病院がともに発展できる、働きがいのある職場を目指します。
6. 健全な経営を維持し、その成果を医療活動を通じて地域に還元します。

患者様の権利

当院では下記の患者様の権利を守ることを宣言します。

良質な医療を公平に受ける権利

患者様はだれでも社会的な地位、疾病も種類、宗教などにより差別されることはなく、適切な医学水準に基づいた安全かつ効果的な医療を受ける権利を持っています。

選択の自由の権利

患者様は担当の医師、病院等を自由に選択し、また変更する権利があります。また、いかなる治療段階においても、他の医師の意見を求める権利を有しております。

情報を得る権利

患者様には、自身の病状や治療について医療上の記載されている情報を受ける権利を有しています。また、納得出来るまでわかりやすく充分な説明を受ける権利があります。

自己決定の権利

患者様は、情報と医療従事者の誠意ある助言・協力を得たうえで、自己の自由な意思に基づいて、検査・治療その他の医療行為を受け、選択し、あるいは拒否する権利を有します。

プライバシーを保護される権利

患者様には、医療過程で得られた個人情報の秘密が侵されない権利があります。

尊敬を得る権利

患者様は、病を自ら克服しようとする主体として、その生命・身体・人格を尊重される権利を有します。また痛みをはじめとする苦痛の除去を受ける権利があります。

医療機関の皆様へ

《検査依頼》

検査予約は、下記時間帯で承ります。

平 日 9:00～17:00
土曜日 9:00～16:00

CT、MRI検査は「放射線技術科」、
脳波検査は「臨床検査室」、
その他については「外来看護師」が
対応いたします。

《入院依頼》

緊急入院につきまして、9:00～17:00 の
診療時間内の依頼は診療担当医が対応
いたします。夜間、休祭日は当直医が
対応いたします。

その他、緊急性の少ない入院の相談は
療養支援相談室で承ります。

TEL : 03-3363-1661 (代)